

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式									
EU41D202		学校経営プロジェクトII(Field Study of School Management II)					実習科目											
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修		2	1	教育学研究科	通年	他	氏名 清國祐二、熊丸真太郎、大島崇、山本遼、渡邊英樹、安田憲司、久保隆											
							E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp 内線 7550											
授業の概要		実習校(現任校)での観察・体験等とその省察を通じて、実習校(現任校)の学校経営上の課題を明らかにし、課題解決に向けた具体的な方策(学校改善企画書)を構想する。観察・体験における研究枠組みの設定および実習の成果・課題の明確化などを目的とする省察科目「学校経営課題研究Ⅰ」との有機的な連関を図りながら学修を進めていく。その際、必要に応じて、他科目の学修内容を関連づけたり、新たな情報収集を行ったりするなど、理論と実践の往還が図られるよう配慮する。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 実習校(現任校)における学校経営上の課題を明らかにすることができる									○	○	○		○					
目標2 学校の課題解決に向けた具体的な方策を構想することができる									○	○	○	○		○				
目標3 学校の課題解決に向けた具体的な方策を同僚と協働して実施できる									○	○					○	○		
目標4 実施した取組について省察できる									○				○					
目標5 省察に基づき改善策を構想できる									○	○	○			○				
目標6 省察に基づき構想した改善策を実施できる									○	○				○	○	○		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ○事前指導：実習に向けて課題意識の明確化を図る。																		
2 ○実習校(現任校)での観察・体験等(80時間)：実習校(現任校)の学校経営上の課題を明らかにするため、下記の例のような視点を設定し、観察・体験等を行う。																		
3 ・児童生徒のための教育活動の質																		
4 ・学校の共有ビジョンの形成と具現化																		
5 ・教育活動の質を高めるための協力体制と風土づくり																		
6 ・教職員の職能開発を支える協働体制と風土づくり																		
7 ・諸資源の効果的な活用と危機管理																		
8 ・家庭・地域社会との協働・連携																		
9 ・規範意識とリーダーシップ																		
10 ・学校をとりまく社会的・文化的要因の理解																		
11 ○事後指導：実習校(現任校)での観察・体験等の省察を通して、課題解決に向けた具体的な方策(学校改善企画書)を構想し、研究成果を報告する。																		
12																		
13																		
14																		
15																		
ラック ニ ン グ		A:知識の定着・確認		○		現任校での学校実習				工夫 その 他の								
		B:意見の表現・交換		○														
		C:応用志向		○														
		D:知識の活用・創造		○														
時間外学修 の内容と時間 の目安		準備 学修		年間を通じた学校実習のため、特になし														
		事後 学修		実習日誌の作成(10時間)、発表会資料作成(5時間)														
教科書		大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻『教職大学院 実習の手引』ISBNなし																
参考書		必要な資料等は大学より配付する																
成績 評価 の方法 及び 評価 割合	評価方法					割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10		
	実習報告の内容					50%	○	○	○	○	○							
	実習日誌や観察記録等による総合的評価					50%	○	○	○	○	○	○						
注意事項																		
備考																		
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	清國祐二（高等学校）／渡邊英樹（小・中学校、教育委員会事務局）／安田憲司（教育委員会事務局）／久保隆（中・義務教育学校）
実務経験を いかした教 育内容	教諭（清國）、校長及び教育事務所長（渡邊）、教育事務所長（安田）、校長（久保）としての学校現場や教育行政現場での実務経験をもとに、学校経営全般に係る指導を行う。